



全日病 S-QUE 看護師特定行為研修

感染に係る薬剤投与関連

区分別科目



(A) 感染徴候がある者に対する薬剤の臨時の投与
病態に応じた感染徴候がある者に対する薬剤投与の判断基準
(ペーパーシミュレーションを含む)：尿路感染症

埼玉医科大学総合医療センター

岡 秀昭 氏

ペーパーペイシエント 尿路感染症

埼玉医大総合医療センター
総合診療内科・感染症科
岡秀昭

Case 1

20代女性

既往歴：膀胱炎

夜間救急に、本日夕方から頻尿と下腹部痛あり、受診。

意識清明 T36.8℃、Bp106/64、HR72、RR18、SpO2 98

Q. 病歴だけで診断可能でしょうか？

- 他に問診することは？
- 鑑別診断は？
- 検査は何を出しますか？
- 特定行為の実施の可否

Case 2

24歳女性 既往歴：膀胱炎

夜間救急に、本日夕方から頻尿と下腹部痛あり、受診。

また膀胱炎になったので抗生剤が欲しいと訴える。

先ほどから、悪寒戦慄あり。嘔吐も1回あった。

意識清明 T39.8℃、Bp96/54、HR130、RR24、SpO2 98

身体所見では 右CVA殴打痛あり

Q. Case1と同じように
病歴だけで診断可能でしょうか？

Case 3

78歳男性 既往歴：前立腺肥大症、脳梗塞、糖尿病

脳梗塞後遺症で自宅療養中の患者。昨日から急に食事が取れず、家族が様子がおかしいと救急搬送。

食欲低下と倦怠感以外に症状なし。

意識清明 T38.8℃、Bp138/84、HR120、RR25、SpO2 96

身体所見に異常なし。膿尿あり。

Q.

- 他に問診,身体所見で追加することは？
- 鑑別診断は？
- 検査は？
- 抗菌薬は？